

2018年6月8～10日；四日市東日本大震災支援の会 第55回派遣 宮城県東松島市あおい地区災害公営住宅での交流会 活動報告

2018年6月13日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

宮城県東松島市では、集団移転が完了に近づきました。長い不自由な仮設住宅での生活を経て、少しずつ普通の生活を取り戻そうとしています。今回は、東松島市内の最大の集団移転事業でできた「あおい地区」の災害公営住宅で交流会（足浴&お茶会）を実施しました。また、夜には、あおい地区会の皆さんと夕食会を開催しました。

宮城県東松島市；宮城県石巻市の西、松島町の東に位置し、2011年の東日本大震災では、沿岸地域だけでなく、海岸線から数キロ内陸まで津波が押し寄せ、住宅地の65%が浸水し、たくさんの方が亡くなり、多くの家屋が全壊・流失の被害を受けました。

<活動場所>

■あおい地区(集団移転先のあおい西集会所・2丁目集会所)

★申込方法・参加費

参加費 23,000円（当日、学校ごとに取りまとめてスタッフまで）

■暁学園生徒・学生は寄付金から一人10,000円の補助、参加費13,000円。

被災地5日以上活動経験のあるスタッフは、参加費6,000円

<費用の内訳>

- ・四日市ー宮城県の大型バス往復、現地での移動
- ・9日の朝食・昼食・夕食、9日の入浴、10日の朝食
- ・ボランティア活動保険

<スケジュール概要>

★6月8日（金）

20：30 四日市大学出発（集中豪雨）⇒新東名・圏央道・東北道を経て宮城へ

★6月9日（土）

07：00 被災地視察：旧大川小学校（語り部さんのお話を聴きました）

09：30 東松島市あおい地区災害公営住宅（地区会会長の小野さんの講話）

10：30～災害公営住宅の戸別告知&見守り訪問

11：30～昼食

12：30～15：00 交流会（足浴&お茶会）

15：00～東松島市内散策（土産購入&入浴）

17：00～ゆふと入浴

19：00～20：00 地区会の皆さんと夕食会（グループ毎に被災体験などを聴かせていただきました）

★6月10日（日）

06：00 バスで移動 ⇒春日 SA(約30分)で朝食購入&洗顔

08：00 原発事故で被害を受けた福島県富岡町を視察（語り部さんの話を聴きました）

19：00 四日市大学帰着 ⇒ 片付け ⇒ 解散





解体が進む仮設住宅。多くの方が、ここで5年以上、不自由な生活をしてきました。



旧大川小学校を視察、語り部さんの言葉の一つ一つを、大切に聴かせていただきました。



午後は災害公営住宅で足浴&お茶会を開催しました。



夜はあおい地区会の皆さんと夕食会。



翌早朝には、福島県富岡町の視察。